

〔森林環境譲与税に関する市町村単独事業メニューの一部に活用可能〕

— 市町村林務担当者の皆さまの業務を、 現場から支える支援プログラム —

森林経営管理制度や森林環境譲与税の導入により、市町村が担う森林整備は、ますます重要な役割を果たすようになっていきます。

中部森林管理局では、市町村の皆さまが“現場で使える知識・技術”を習得できるよう、次の3つの支援プログラムを提供しています。



ニホンジカ食害防除対策現地検討会



実務研修

現場に必要な基礎知識・技術を体系的に学べる研修プログラム

…P.2

現地検討会等

最新の技術・実践例を“現場で見て、学び、共有する”場

…P.3

森林整備箇所への同行

国有林職員と“同じ視点”で現場を見る実地サポート

…P.4

実務研修

市町村林務担当の皆さま向けに、初任者・若手中心の実務研修を提供します。

必要な講義だけ選んで受講できます（例：5日間のうち2日目・3日目のみ）。

参加費は無料です。（現地までの交通費・宿泊費は各自ご負担）

研修カリキュラム・申込方法は研修所から別途ご案内。

ご不明点は中部森林管理局 研修所まで。



森林環境教育実践者育成研修
現地実習

現場で使える基礎と実務を短期で習得

- ・基礎～先進技術まで体系的に網羅（森林の見方／造林／収穫／ドローン等）
- ・選択受講で業務に合わせて効率的に学習
- ・現場前提のカリキュラムで、戻ってすぐ実践可能

研修名	主な研修内容	研修期間	募集人員
1 森林の見方 (基礎研修A)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林施業の基礎 ・現地での森林の見方 ・森林のGIS等の活用 ・主な樹種、植生の見方 等 	WEB研修 6/2-6/3 集合研修 6/8-6/12	5名程度
2 森林の育成 (基礎研修B)	<ul style="list-style-type: none"> ・造林事業 ・森林被害と森林保護 ・治山事業 等 	WEB研修 6/23-6/25 集合研修 7/13-7/16	5名程度
3 森林の収穫 (基礎研修C)	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫調査演習・生産請負現場演習 ・木材利用 	集合研修 10/5-10/9	5名程度
4 先進技術研修	<ul style="list-style-type: none"> ・無人航空機基礎知識 ・基本操作 ・画像処理 	集合研修 8/25-8/27	3名程度
5 森林環境教育 実践者育成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境教育の企画立案 ・野外活動・自然観察等（現地実習） ・森林ふれあい業務と安全管理 	集合研修 10/19-10/22	5名程度
6 林木育種研修	<ul style="list-style-type: none"> ・林木育種事業の概要 ・新品種の開発・エリートツリー ・試験地での調査実習 ・技術開発の取組 	集合研修 9/2-9/4	5名程度

① 1～3、5の集合研修は、中部森林管理局研修教室において行います。先進技術研修は、岐阜県下呂市周辺にて行います。林木育種研修は、長野県小諸市周辺にて行います。

② 研修カリキュラムなどの詳細、研修申し込み方法は、中部森林管理局研修所から別途お知らせいたします。ご不明な点がございましたら中部森林管理局研修所へお問い合わせください。

現場で学び、すぐ実装

机上では理解しづらい技術や判断ポイントを、実際の森林現場で確認しながら学ぶことで、より実践的な知識の獲得が可能になります。



架線集材現地検討会

分野	開催時期 (予定)	主催	概要
生産性向上実現 プログラム現地 検討会 	6～12月	各署等 ※開催予定のない森林管理署(所)もありますので、事前にお問い合わせください。	木材生産事業における生産性向上の取組状況の確認、現地確認等を行い、意見交換等を実施。
造林コスト削減 現地検討会 	9～10月	東濃署	R3に植栽した試験地（下刈：毎年・隔年・省略）において現地検討会を実施
ニホンジカ防除 対策検討会 	9～11月 6～11月 10～11月 11～12月	南信署 飛騨署 東濃署 技セン(岐阜署)	ニホンジカによる森林被害の防止対策のため、防除対策講習会や現地検討会を実施。
ドローンの 操作講習会 	9～12月	技セン・局	ドローンを森林調査等に利用した取組事例の紹介と基本操作の講習会を実施。
森林施業 検討会 	10～11月 9～11月	富山署 木曽署・局	様々な森林施業方法（例：林業経営に適さない人工林の針広混交林化への誘導方法）について、意見交換や現地見学を実施。
架線集材 現地見学会	9～11月	木曽署 岐阜署・東濃署	架線集材普及のため現地見学を実施。

- ① 技セン＝森林技術・支援センター
- ② 市町村所在地域内の森林管理署(所)が行う現地検討会等の詳細(日時、場所等)は、確定次第、該当署(所)よりご案内します。
- ③ 市町村所在地域外の森林管理署(所)が行う現地検討会等へ参加をご希望の場合は、所在地域内の森林管理署(所)へお問い合わせいただければ、詳細をご案内します。

監督・検査の視点を現場で体得

森林整備を実行する際に求められる“現場を見る力”は、机上の知識だけでは身につけにくい部分です。そこで、国有林職員が実際に現場へ向かう際に、市町村の担当者の皆さまが同行できる仕組みを整えています。



ドローン操作実技

例えば、国有林職員と現場に同行し、踏査・監督・検査の流れを実体験しながら、地図・GPSの使い方や林分把握、立木計測、安全指導など、現場で必要な判断ポイントを習得できます。

実行例	内容
対象森林の選定・調査(踏査)	(1) 対象森林の位置の確認方法(地図の見方、GPS、ドローンの使い方等) (2) 森林現況の把握、施業方法の検討(樹種の見分け方、林分密度の把握、作業種の考え方等) (3) 区域表示の方法(GPSの活用方法) 等
事業実行	(1) 現場監督、現場管理のポイント (2) 現場の歩き方(地図の見方、GPSの使い方) (3) 立木・丸太(素材)の計測方法 等 (4) 安全指導のポイント (5) 服装、装備(保安帽、靴、蜂・ダニ・熊対策)
完了検査	(1) 事業完了時の検査の手法

① 入札等の内容については、非公表の部分も有りますので、あらかじめ御了承ください。

② 取組については、森林管理署(所)へ事前にお問合せください。

事業実行にあたりお困りのこと、知りたいことなど、お気軽に最寄りの森林管理署等へご相談ください。